



世界銀行主催「GCC 省エネ・新エネ国際フォーラム」にパネリストとして参加しました

世界銀行主催の「GCC 省エネ・新エネ国際フォーラム」が2015年5月27～28日にオマーン国マスカットで開催され、当センター祖川常務がパネリストとして参加しました。GCCとはGulf Cooperation Councilの略で、バーレーン、クウェート、オマーン、カタール、サウジアラビア、UAEが参加しています。今回は、GCC各国が省エネ、新エネを推進するために他国を交えて意見交換を実施したもので、GCC各国以外からは、アメリカ、カナダ、ドイツ、ヨルダン、トルコ、エジプト、南アフリカ、インド、中国、日本が招待されました。

本フォーラムの目的は、以下の通り。

- ・世界の最新事例のGCCへの適用
- ・ビルや工場における省エネポテンシャル
- ・省エネ投資を補完するための方策
- ・経済の悪化を回避するための省エネ推進の役割
- ・省エネ推進に向けてGCC各国が協力できる分野



2日間にわたり、7つのセッションで議論が行われ、祖川常務はセッション2（省エネ推進組織のあり方について）に参加し、日本の省エネルギーセンターの体制や本部支部間の連携について述べました。各セッションの議題は以下の通り。

- （セッション-1）より強固は経済発展のための省エネ推進について
- （セッション-2）省エネ推進組織のあり方について
- （セッション-3）省エネ投資促進のための政策、市場誘導について
- （セッション-4）エネルギー料金への補助金政策の見直しについて
- （セッション-5）省エネ、新エネを推進するための政策について
- （セッション-6）省エネ、新エネのポテンシャル見直しについて
- （セッション-7）GCC各国の省エネ促進に向けた総括

各セッションでは、各国の政府高官も参加して、活発な議論が行われました。特に、エネルギー料金への補助金政策の見直しについては、会場からも多くの質問があり、エネルギー料金への補助がGCC各国の経済を悪化させ、省エネ推進を阻害しているという認識は各国共通のものでした。

以上